

Saiyu Fund

[西遊基金]

寄附に込める想い

仲間たちが支えてくれた 宝物のような4年間

実家が薬局を営んでおり、薬剤師になるために長崎大学の薬学部へ進学しました。ところが、数学と化学が大の苦手だった私。なんとか入学は果たしたものの、大学での勉強は本当に大変でした。当時の薬学部は4年制で、卒業までクラスの顔触れは変わりません。同級生の中には、授業料から生活費

まで自力で工面している人もいるなど、育ってきた環境はバラバラでしたが、みんな仲が良く、誰かの為に手を差し伸べることを厭わない人ばかりでした。

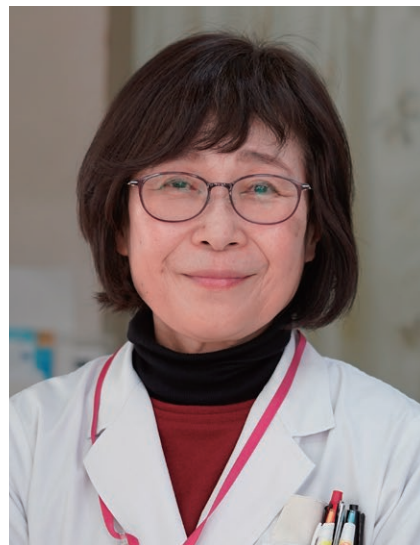
仲間を支えられながら4年生になった私は、実験と卒論、国家試験の勉強に取り組む多忙な日々に行き詰まり、誰かと目が合うだけで涙がこぼれ落ちるほ

ど追い詰められていました。そんな中、国家試験の可否を予想していた先輩たちの「内海は大穴だから大丈夫。落ちても気にするな」という言葉で大いに発奮、国家試験に合格し薬剤師になることができました。現在の薬局に勤めるようになって33年が経ちます。そして、60歳を過ぎた現在も地域の皆さんのお役に立てればと日々奮闘しています。

今の私があるのは、大学時代に支えてくれた同級生や先輩たちのおかげです。勉強は大変でしたが、文化祭やゼミの旅先で撮影した写真を懐かしく見返すと、どれも本当に楽しそうに笑っています。

かけがえのない出会いと経験の場を与えてくださった長崎大学に、できる今こそ恩返しをしたい。それが今回、西遊基金に寄附を決めた一番の理由です。長崎大学には少子化の波を乗り越え存続して欲しい。そのためには世界へ羽ばたく人材の育成に僅かではあります。活用して頂けると嬉しいです。

実は、取材のお話をいただいた時に



内海さんは広島県のご出身。広島県福山市を中心に、県内外でチェーン展開している「サン・メディカル薬局」に勤務されています。大学時代には長崎大水害を経験。住んでいたアパートが水没しそうになった時に近所の人に助けられ、九死に一生を得たそうです。

最初はためらいましたが、これを見た卒業生が学生時代を振り返り、子や孫のような学生の未来に夢を託して応援するきっかけになればとの思いでお引き受けしました。

寄附後、永安学長からお電話があり「時々でいいので長崎大学のことを思い出してくださいね」と懐かしい長崎弁で言葉を頂きました。宝物のような4年間を過ごした母校のことを、私は誇りに思っています。これから思い出とともに心の中にあり続けます。

Event Report

世界と日本をつなぐ交流の架け橋に、あなたのご支援を

長崎大学には、故郷や親元を離れて遠い異国の地から入学する留学生がたくさんいます。西遊基金では、慣れない土地での生活を始める留学生が日本文化に触れ、日本人学生や教員、地域住民の方々と交流する場として「国際学生文化交流会※」の開催を支援しています。

今年度は、9月に日本の夏祭り、12月にお正月をテーマとして、2回開催。留学生や大学関係者に加え、近隣の高校生など約400人が参加しました。ちょうちんやライトで飾られた会場では、かき氷や焼きそば(9月)、

お雑煮や年越しそば(12月)などの料理が振る舞われ、留学生が日本の季節や伝統文化を感じられる機会となりました。

9月の催しでは、特設ステージで、純心女子高等学校の生徒による空手や合唱、大学サークルによるチャリディングやよさこい、留学生による日本舞踊が行われました。また、12月の催しでは、母国の年末年始の風習などについて紹介があり、文化や言語の垣根を越えた交流が生まれました。

この交流会は、留学生と日本人学生が絆を深める

だけでなく、大学周辺の皆さまの国際理解と国際交流を促進する場にもなっており、留学生からは「長崎、そして日本で自分の夢を実現するための重要な機会になった」との声を多くいただきました。

長崎大学では、今後もこういったイベントを開催していきたいと考えていますので、皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

※本交流会は、「ながさきピース文化祭2025」の応援事業です。



(左) 工学部2年 小川雄世さん
(中) 工学部2年 和田晴希さん
(右) 工学部2年 梶島啓斗さん

男子バスケットボール部(全学)

スポーツドリンクで 熱中症対策!



この度いただいたご寄附は、スポーツドリンクの購入費に充てさせていただきました。夏の体育館の練習では、塩分補給が欠かせないのでとても助かりました。11月に行われた全九州バスケットボールリーグ戦では惜しくも敗退してしまいましたが、新体制に移行し練習試合を積極的に組むなど、2部昇格を目指し一生懸命練習に励んでいます。皆さまからのご支援への感謝を忘れず、部員一同精一杯練習に取り組んでいきます。引き続きよろしくお願いいたします。



教育学部1年 松尾泰志さん

硬式野球部 練習用のボールを購入! 2部リーグで優勝し1部昇格を目指す

私たちの部は指導者が不在のため、学生自身が練習メニューの組み立てからチーム運営まで行っています。野球だけでなくさまざまな活動を通して、人として成長することを目指しています。いただいたご支援は、野球ボールなどの練習道具の購入に充てさせていただきます。練習環境が充実することで、より効率的な練習に励むことができることを、大変うれしく思っております。昨年9月、10月に実施された「第112回九州地区大学野球選手権北部ブロック2部リーグ」では、5位という悔しい結果に終わりました。この悔しさをバネに、練習に全力で取り組みます。4月から始まるリーグ戦では2部リーグ優勝、1部昇格を目指します。



薬学部2年 キャプテン 濱口 陽介さん

サークル応援サイト



Choho Vol.86の「助けて先輩!!」を見てくださった先輩から、サークル活動支援基金を通じてたくさんのご支援をいただきました。ありがとうございます! ありがとうございます! ありがとうございます!

今回は私たちから先輩へ、感謝の想いを伝えます。
※長崎大学では、学生団体への支援を受け入れるためのサークル活動支援基金を設けています。

(右) 経済学部2年 山内樹人さん
(左) 多文化社会学部2年 峯沢 一郎さん
(右) 多文化社会学部2年 今村 隆さん
(上) 教育学部1年 大原 りぼんさん
(左) 工学部1年 中尾 泰人さん



New Fund

西遊基金に新たに二つの支援事業基金が加わりました

① 医学科教育事業基金

医学部医学科生の教育支援を目的とした基金を新たに創設しました。ご寄附いただいた資金は、医学科生がより充実した教育環境で学べるよう、教育プログラムの拡充や最新設備の導入に役立てられます。

医療の未来を支えるため、ご寄附をどうぞよろしくお願いいたします。



② ながさきピース文化祭2025 学生応援基金

来年度、長崎で開催される「ながさきピース文化祭2025※」に参加する学生への支援を目的とした基金です。ご寄附いただいた資金は、関連イベントに参加する学生の支援に役立てられます。

本学学生の文化・芸術振興活動のため、ご寄附をどうぞよろしくお願いいたします。※本学は、「ながさきピース文化祭2025」のオフィシャルサポーターです。



卒業生イマナニシテル!?

卒業生の思い出や現在の様子を知ることができる「卒業生イマナニシテル!？」が「Web Choho」限定で公開されています。皆さまのお知り合いが登場するかもしれません。また、記事投稿も随時募集しております。ぜひご覧ください。



<https://choho.nagasaki-u.ac.jp/tag/alumni/>

西遊基金

「西遊基金」は、長崎が長年にわたって培ってきた個性と伝統を基盤に、地域の発展から地球規模の課題まで、さまざまな問題を解決するための傑出した人材育成を目指した、長崎大学独自の修学支援と、教育・研究の幅広い支援を目指した基金です。TEL:095-819-2155

